

一般社団法人未踏科学技術協会超伝導科学技術研究会
第 84 回ワークショップ

「新しい超伝導体のホットな話題、最新の理解」

2008 年に LaFeAs(O,F) [1111 相]における高温超伝導が報告され、その直後に発見された 122 相や 11 相などの物質群と合わせて鉄系超伝導体という新しい超伝導体のファミリーが生まれましました。鉄系超伝導体の構造的な特徴は層状構造で必ず超伝導を担う単層の鉄の正方格子を含む逆蛍石型構造を含むこと、およびこの層の間、つまりブロック層の構造、化学組成が実に多様なことで、6 年余を経た今なお新しい結晶構造、新しい構成元素の組み合わせを持つ鉄系超伝導体が発見されています。一方、1111 相、122 相、11 相においては、高品質試料の合成技術や、様々なドーピング手法の進歩により、より本質的な物性の理解が進み、また最近では材料化の可能性が積極的に追求されています。鉄系超伝導体が注目を集めているなか、BiS₂ 系をはじめ全く新しい超伝導体も次々と発見されており、近年は超伝導物質探索が旬の時期といえるようです。

以上の背景のもと、本ワークショップではこの数年の“新しい超伝導体”に関する最新の話題と理解を取り上げ、本分野における最近の研究、特に実験現場でもご活躍の気鋭の方々に講師をお願いしました。生々しい議論を通じて、今後の“新しい超伝導体”に関する研究展開や次の新超伝導体探索に対する指針やヒントが浮かび上がってくることを期待しています。

多くの皆様のご参加をお待ちします。

主催：一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会

協賛：一般社団法人 日本物理学会、公益社団法人 応用物理学会、
公益社団法人 低温工学・超電導学会

日時：平成 26 年 7 月 22 日（火）13:30～17:35

場所：全日通霞が関ビルディング 8 階 大会議室 B

〒100-0013 千代田区霞が関 3-3-3 TEL 03-3581-2261

定員：120 名

参加費・資料代：

- 超伝導科学技術研究会員：参加費無料、資料代 2,000 円
- 未踏科学技術協会員：参加費 2,000 円、資料代 2,000 円
- 協賛学会：参加費 4,000 円、資料代 2,000 円
- 一般：5,000 円、資料代 2,000 円
- 学生：参加費無料、資料代 2,000 円

プログラム（案）：

13:30～13:40	開会の挨拶	超伝導科学技術研究会 会長	下山 淳一
13:40～14:20	1111 相鉄系超伝導体の相図に関する最新の話題	慶應義塾大学	神原 陽一
14:20～15:00	122 相超伝導体に関する最新の話題と理解	大阪大学	中島 正道
15:00～15:40	11 相超伝導体に関する最新の話題と理解	東京大学	今井 良宗

15:40～16:00	休憩		
16:00～16:30	ユニークな構造を持つ鉄系新超伝導体	東京大学	荻野 拓
16:30～17:00	BiS ₂ 系、BiSe ₂ 系超伝導体の最新情報と可能性	首都大学東京	水口 佳一
17:00～17:30	次々と出現する新奇超伝導体	産業技術総合研究所	石田 茂之
17:30～17:35	閉会の挨拶	未踏科学技術協会	木村 茂行

参加お申し込みはこちらから：<http://www.snnt.or.jp/~fsst/20140722.html>

問い合わせ先： 一般社団法人 未踏科学技術協会 超伝導科学技術研究会 担当 大貫、金子
 Phone: 03-3503-4681 Fax: 03-3597-0535 e-mail: fsst@snnt.or.jp

<会場地図> 全日通霞が関ビル

- 最寄駅 東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」5・6・11番出口より徒歩5分
- 東京メトロ 千代田線・日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分
- 東京メトロ 丸ノ内線「国会議事堂前駅」2・3・4番出口より徒歩8分

